

CASBEE® 名古屋

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版、名古屋 | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2014(v.1.0)
市建築物環境配慮制度適用マニュアル

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新・第二豊田ビル	階数	地上25F
建設地	名古屋市中村区名駅四丁目10番	構造	S造
用途地域	都市再生特区	平均居住人員	XX 人
気候区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	事務所,集会所,ホテル,等	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2016年6月 予定	評価の実施日	2014.8.20
敷地面積	4,234 m ²	作成者	
建築面積	2,199 m ²	確認日	2014.8.25
延床面積	47,583 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BE3.4 ★★★★★★

☆:S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B:★★★ C

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

☆:100%超 ☆☆:100% ☆☆☆:80% ☆☆☆☆:60% ☆☆☆☆☆:30%

標準計算

①参照値	184
②建築物の取組み	46
③上記+②以外の	92
④上記+	138

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 4.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 4.2

音環境	4.6
温熱環境	3.9
光・視環境	3.8
空気質環境	4.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.8

機能性	4.1
耐用性	3.6
対応性	3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 4.5

生物環境	4.0
まちなみ	5.0
地域性	4.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

建物外皮の	4.0
自然エネ	4.0
設備システ	4.4
効率的	5.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

水資源	4.2
非再生材料の	3.8
汚染物質	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.8

地球温暖化	3.7
地域環境	4.0
周辺環境	3.8

3 設計上の配慮事項	
総合 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 環境配慮型建築を目指して計画を行っている	その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・窓ガラスのLOW-eガラス採用	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・高度情報通信技術対応 OA容量
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・自然エネルギー利用(井水利用他) ・省エネ法改正一次エネルギー利用	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・節水器具の利用 ・井水による中水利用
	Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・防犯性への配慮 LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・雨水抑制水槽

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される